

吉備国際大学保健科学部研究紀要投稿要領

【1】投稿資格・期日

本紀要への投稿は、原則として本学教員（教授・助教授・講師・助手）及びその関係者に限るが、紀要委員会が認めた場合には、その限りではない。

原則として、投稿申し込みは、各年度6月末、原稿提出は10月末日、紀要発行は、翌年の3月とする。投稿申し込み、原稿提出先は、各学科紀要委員とする。

【2】掲載順序・採否

掲載の採否、順序などは紀要委員会で行う。ただし、ヒトや動物を対象とした研究の場合には、その取扱いに倫理上の問題があると判断されるものは掲載しない。

【3】原稿の種類

原著、総説、実践研究、調査報告及び資料を原則とし、和文、欧文のいずれでもよい。

【4】投稿一般規定

1. 用紙

- 1) 和文原稿の場合は、A4判用紙を使用する。
- 2) 英文原稿の場合は、A4判または国際版（216×280mm）の用紙を使用する。
- 3) 和文、英文原稿ともに、原稿ファイルを記録したワープロのフロッピーディスク（印刷所のコンピュータで読めるもの）を用紙に添えて提出することを、原則とする。フロッピーディスクのシールには、記録の様式が分かるように明記する。

2. 原稿紙数

和文、英文ともに刷り上がり10頁以内を原則とする。

3. 原稿の作成方法

原稿は、次に従うもの。

1) 表紙

a. 和文原稿の場合

日本語の表題、日本語の著者名、英語での表題、英語での著者名、日本語での所属およびその所在地、英語での所属およびその所在地、ランニングタイトル、表紙を含めた原稿の枚数、図と表の数、別刷り希望部数、をこの順に従って書く。

なお、著者の所属の表記は、筆頭者は無記号。共著者の所属が異なる場合はその著者の右肩および所属名の冒頭に*や**印をつける。

b. 英文原稿の場合

英語の表題、英語の著者名、日本語での表題、日本語での著者名、日本語での所属およびその所在地、英語での所属およびその所在地、ランニングタイトル、表紙を含めた原稿の枚数、図と表の数、別刷り希望部数、をこの順に従って書く。

なお、著者の所属の表記は、筆頭者は無記号。共著者の所属が異なる場合はその著者の右肩および所属名の冒頭に*や**印をつける。

2) 要旨または Abstract、およびキーワード（原稿第二枚目）

和文原稿の場合は、400字以内の和文の要旨を、研究目的、方法、結果および結論を理解できるように書く。英文原稿の場合は英文の Abstract（研究目的、方法、結果および結論を理解できるような200語以内の概

要) をシングルスペースでタイプする。

要旨 (または Abstract) の下に、和および英のキーワード **Keywords** (それぞれ 3 ~ 5 語) を添付する。

3) 本文 (原稿第三枚目以降)

本文は第三枚目以降とする。

和文の原稿の場合は、22字×40行で打ち出す。平仮名、新仮名使い、常用漢字とし、外国語、外国固有名詞、化学物質名などは原語、外来語、動植物名などはカタカナ、数詞は算用数字の使用を原則とする。英文原稿の場合は、シングルスペースでタイプする。イタリックを必要とする場合は、目印にアンダーラインを引く。

4) Abstract または要旨

和文原稿の場合は英文の200語以内の **Abstract** を、英文原稿の場合は400字以内の日本語の要旨を、文献の項目の前に入れる。

5) 単位および単位記号

国際単位系、メートル法を基準とする。

6) 項目の区分

大項目……前を一行あけ、行の中央に、無記号で下線をつける。原著論文の緒言 (**INTRODUCTION**)、材料 (**MATERIALS**)、方法 (**METHODS**)、結果 (**RESULTS**)、考察 (**DISCUSSION**)、引用文献 (**REFERENCES**) などが相当する。

小項目……以下の順で使用する。

1.、2. ……行の第1字目に記す。

1)、2) ……行の第2字目に記す。

a.、b. ……行の第2字目に記す。

a)、b) ……行の第3字目に記す。

7) 注

注が必要な場合には、本文中の該当箇所右肩に⁽¹⁾のように順を記し、本文、謝辞の後、文献の項目の前に一括掲載する。

4. 図表および写真

図表は、必ず一つずつ別紙に記し、図ごと、表ごとの通し番号をつける。図版 (**Plate**) や写真 (原則として白黒) は、図として取り扱う。図はなるべく原寸大とし、明瞭でそのまま印刷できるものとし、14×20cm 以内にまとめる。

図は台紙 (A4) に貼り、さらに薄紙のカバーを付けるのを原則とする。カバー (または台紙の裏) には筆頭者名、ランニング・タイトル、図の通し番号を記入する。

図、表の説明文 (英文でもよい) は、まとめて原稿の末尾につけ、原稿本文中の欄外余白部に図、表の挿入位置を朱記し明示する。

5. 引用・参考文献

文献は、引用順に配列し、原稿末尾に一括掲載する。外国語文献は、必ずタイプする。なお、本文中該当箇所の右肩に、¹⁻⁴⁾や^{3,5)}のように記す。

著者名は、筆頭から3名まで、それ以上は他 (**et al**) とし、人名の記載は、姓を先にすることを原則とする。

1) 雑誌から引用する場合

著者名 (発行西暦年) 表題. 掲載雑誌名 巻数 (必要であれば号数) : 頁一頁の順に記入する。ただし、英文の著者名および雑誌名の省略を表すピリオド [.] は省くこと。雑誌名は、日本医学雑誌略表 (日本医学図

書館協会編) および Index Medicus に従うこと。

例

- 1 Makino K (1981) Fluorophores of the human retinal pigment epithelium. *Exp Eye Res* 50 : 79–88
- 2 Sakaguchi M, Bennet TM, Jameson EW et al (1959) Two new fleas from Japan. *J Med Zool* 10 : 156–162
- 3 花山美代 桜木和美 梅桃光子 他 (1987) 性周期記録のころみ. *母性衛生* 20(3) : 34–56

2) 単行本から引用する場合

著者名 (発行西暦年) (表題.) 署名 (版数) (編者名) 発行所 発行地 (引用頁)

例

- 4 Wintrobe IW (1974) *The Conduction of the Nervous Impulse*. Liverpool Univ Press, Liverpool
- 5 Hodgkin AL (1974) The erythrocyte. In “*Clinical Hematology, 7th ed*” Lea and Febiger, Philadelphia
- 6 Schwartz TW, Tager H (1981) Biosynthesis of pancreatic polypeptide. In “*Gut Hormones, 2nd ed*” Bloom RS, Polak M (ed) Churchill livingston, Edinburgh, London, Melbourne, New York p202–205
- 7 桃山浩 (1978) *心理学の探究* 第2版. 国土社 東京
- 8 松竹太郎 梅山春子 桜川洋 (1978) 松果体腫瘍に対する重粒子線の効果. *放射線治療* 山川一郎 高山登 編 医大学書房 大阪 p96–102

6. 校正

原則として校正は著者に依頼する。校正は再校までとし、校正時における内容の変更や追加は認めない。なお、校正は紀要委員会で定めた期日までに必ず返却する。

7. 別刷り

著者には紀要誌2部、別刷り30部を贈呈する。30部を越える分については、著者の負担とする。

8. 著作権

投稿された論文の著作権は著作者が有する。

著作権者は該当論文が「吉備国際大学保健科学部研究紀要」に掲載され、発行・頒布されることを許諾したものとす。なお、これには「吉備国際大学保健科学部研究紀要」として電子化し、公開することを含めるものとする。

附則 この投稿要領は平成7年4月1日より施行する。

附則 この改訂投稿要領は平成11年4月1日より施行する。

附則 この改訂投稿要領は平成13年4月1日より施行する。

附則 この改訂投稿要領は平成17年4月1日より施行する。